

Mizuho Daily Market Report

2023/5/11

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	135.26	134.34	▲0.89	▲0.37
EUR	1.0965	1.0982	+0.0020	▲0.0080
AUD	0.6760	0.6779	+0.0017	+0.0108
SGD	1.3276	1.3250	▲0.0024	▲0.0053
CNY	6.9284	6.9304	+0.0100	+0.0178
MYR	4.4547	4.4585	+0.0105	+0.0033
THB	33.71	33.67	▲0.06	▲0.37
IDR	14730	14725	▲5	+40
PHP	55.70	55.69	▲0.08	+0.32
INR	82.04	81.99	▲0.05	+0.16

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.443%	▲7.6 bp	+10.7 bp
日本(10年)	0.425%	▲0.1 bp	+0.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.288%	▲6.2 bp	+4.1 bp
オーストラリア(5年)	3.180%	+2.2 bp	+0.8 bp
シンガポール(5年)	2.740%	+3.1 bp	▲3.2 bp
中国(5年)	2.560%	▲2.2 bp	▲6.1 bp
マレーシア(5年)	3.467%	+1.8 bp	+0.2 bp
タイ(5年)	2.135%	▲1.0 bp	+0.3 bp
インドネシア(5年)	6.182%	▲2.8 bp	▲5.6 bp
フィリピン(5年)	5.581%	+0.6 bp	▲27.7 bp
インド(5年)	6.985%	+0.3 bp	+4.1 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,531.33	▲0.1%	+0.4%
N225(日本)	29,122.18	▲0.4%	▲0.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,306.76	▲0.4%	▲0.1%
ASX(オーストラリア)	4,220.42	▲0.3%	▲0.6%
FTSTI(シンガポール)	3,242.29	▲0.0%	▲0.6%
SSEC(中国)	3,319.15	▲1.1%	▲0.1%
KLSE(マレーシア)	1,425.68	▲0.5%	▲0.0%
SETI(タイ)	1,569.56	+0.3%	+2.4%
JKSE(インドネシア)	6,811.905	+0.5%	▲0.0%
PSE(フィリピン)	6,658.59	+0.5%	+0.8%
SENSEX(インド)	61,940.20	+0.3%	+1.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	262.22	▲0.7%	+2.2%
金	2,030.09	▲0.2%	▲0.4%
原油(WTI)	72.56	▲1.6%	+5.8%
銅	8,436.25	▲1.5%	▲0.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	133.90	—	135.00
EUR/USD	1.0900	—	1.1060
AUD/USD	0.6720	—	0.6890
USD/SGD	1.3140	—	1.3300
USD/CNY	6.9100	—	6.9420
USD/MYR	4.4300	—	4.4790
USD/THB	33.25	—	33.85
USD/IDR	14620	—	14780
USD/PHP	55.50	—	56.40
USD/INR	81.80	—	82.50

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は135円台前半でオープン。東京仲値前にかけ売られる場面も見られたものの、その後は材料不足の中135円台前半で小幅に推移。しかし、終盤にかけては米金利の上昇を受けドル円も上昇し135円台半ばで海外時間に渡った。アジア通貨はアジア時間において全般的に小動きとなった。米4月CPIの結果発表を控える中、様子見ムードが広がる展開となった。

海外市場のドル円は135円台前半でNYオープン。NY時間朝方に発表された米4月CPI(前年比)が予想を下回り、米インフレ減速が意識されると米金利低下とともにドル売りが強まり、134円台前半まで下落。NY午後には一時134円台半ばまで戻す場面も見られたが、米10年債入札結果が予想以上に強い内容だったことから米金利は伸び悩み、ドル売り優勢の展開が継続し134円台前半でクロスした。

【金利】

米債利回りは低下。NY時間朝方の米4月消費者物価指数はインフレ高止まりを示唆する内容ながら、前年比数値が2年ぶりに節目の5%を下回った他、スーパーコアと呼ばれる住宅費を除いたサービス価格については前月比で大きく鈍化したことから、市場予想比上振れが警戒されていた中で、短期債中心に債券は買い優勢の展開となりプラスティブ化で終了。

【予想】

本日のドル円相場は上値の重い推移を予想。昨日発表された注目の米4月CPIは市場の予想を下回る結果となりインフレ圧力の減速を意識させる結果となっており、本日についてもCPI発表後のドル売り圧力が継続する展開を予想する。

【本日の予定】

(日本) 3月 国際収支
(日本) 国債入札(30Y)
(日本) 日銀 主な意見
(アジア) 1Q フィリピン GDP
(アジア) 4月 中国 CPI
(アジア) 4月 中国 海外直接投資
(アジア) 5月 豪 消費者インフレ期待
(欧州) 1Q 英 GDP(速)
(欧州) 3月 英 GDP / 鉱工業生産 / 製造業生産
(欧州) 3月 英 サービス業指数 / 商品貿易収支
(欧州) 英 金融政策会合
(米国) 4月 PPI
(米国) 国債入札(30Y)
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。